W.テーリヒェン/ ティンパニ協奏曲 作品 34 ソリスト: 丹治 樹 (ティンパニ)

W.A. モーツァルト/ モテット"踊れ,喜べ,幸いなる魂よ" KV165(158a)

ソリスト: 高田 瑞希 (ソプラノ)

P. チャイコフスキー/ ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品35 ソリスト: 玉井 元 (ヴァイオリン)

C. サン=サーンス/ ピアノ協奏曲第5番 "エジプト風"へ長調 作品 103 ソリスト: 大槻 夏子 (ピアノ)

指 揮 下野 竜也

(京都市立芸術大学音楽学部教授)

管弦楽

京都市立芸術大学 音楽学部・大学院管弦楽団 2020.

18:00~ 配信開始

京芸YouTubeチャンネルにて

視聴無料・申込不要

4名のソリストによる オーケストラとの協演を お届けします。

京



京都芸大 京都とともに 芸術とともに

本公演は無観客で実施するため,ご入場いただけません。オンラインでご視聴ください。 配信時間については、都合により変更する場合があります。 内容に変更がある場合は、本学ホームページでお知らせいたします。

催! 京都市立芸術大学

問合せ先 京都市立芸術大学 事務局 連携推進課(事業推進担当)

TEL 075-334-2204 (平日8:30~17:15)

大学HP | URL https://www.kcua.ac.jp/



京芸YouTubeチャンネルにて

2020年10月20日[火] 18:00~配信開始 (20:40餐預予定)

https://www.youtube.com/c/kyoto geidai

京都芸大 オーケストラ協演の夕べ



開演時間について、変更する可能性があります。変更となった場合、本学ホームページでお知らせいたします。

管弦楽

出演者紹介



揮 下野 竜也

(京都市立芸術大学音楽学部教授)

京都市立芸術大学 音楽学部・大学院管弦楽団

©Naoya Yamaguchi (Studio Diva)

ソリスト



ティンパニ 丹治

(管・打楽専攻4回生)

■ W. テーリヒェン/ ティンパニ協奏曲 作品 34

ヴェルナー・テーリヒェンは作曲家であり, またベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の 首席ティンパニ奏者でもありました。

この曲は急緩急の3つの楽章からなってい

ます。第1楽章は様々な種類のマレットやスティックの使い分け、また 特殊な奏法によって生まれる音色の違いが非常に興味深いです。第2 楽章ではティンパニの音程を次々に変えて叙情的な旋律を奏でます。 第3楽章はティンパニが同じ旋律を繰り返しながら盛り上がっていく 華やかな終曲です。カデンツァという即興的な演奏部分は奏者の個性 がより色濃く表れます。

この名曲をオーケストラと共演するという貴重な機会を頂けたことを 感謝しつつ全力で挑みます。

皆様にお楽しみいただけると幸いです。



高田 瑞希 ソプラノ

(声楽専攻4回生)

■ W.A. モーツァルト/ モテット"踊れ,喜べ,幸いなる魂よ" KV165 (158a)

1773年, モーツァルトが17歳の時に, その 前年作曲したオペラ《ルチオ・シッラ》で主 役を務めたカストラート歌手のために書か れた曲です。

作品は急・緩・急のイタリア風3楽章から成り,第2曲の前には短いレ チタティーヴォが挿入されています。

第1楽章,第3楽章では細かな音の動きを伴った華やかな曲調で讃美 の祈りを歌い,第2楽章では聖母マリアへの平安の祈りを歌います。 第2楽章の歌詞に冠を意味するcoronaという言葉が何度か出てくる のですが,これは今流行しているコロナウイルスの語源です。それ故, 私はこの曲を練習するたびに世界の状況やコロナ収束への願い、また 明るい未来への期待を思い描いています。

今回このような演奏機会を頂けたことに感謝し、演奏を通して少しで も楽しい時間をお届けできるよう心を込めて歌います。



玉井 ヴァイオリン 元

(弦楽専攻4回生)

■ P. チャイコフスキー/ ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品 35

チャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲は, 最も人気の高いヴァイオリン協奏曲の1つ であり,同時にチャイコフスキーのなかでも 特に人気の作品と言えるでしょう。

私見ではありますが、チャイコフスキーの音楽の魅力といえば感情に強 く訴えかけるメロディ,情熱的で絢爛豪華な曲調などがあります。そし てもう1つ私が大切だと思う魅力は、「どこか品のある佇まい」です。

ですが,これらの魅力を良いバランスで聴き手に届けることは本当に 難しいことです。ヴァイオリン、そして音楽を学ぶ私にとって、この協 奏曲を演奏することはとても大きな挑戦です。

そんな1つの目標でもあるこの曲を、戦友達のオーケストラ、そして日 頃私たちを説得力のあるご指導で導いてくださる下野竜也先生とご一 緒できることを,心から幸せに思います。

まだまだ幼いかもしれませんが、22歳なりのチャイコフスキーを是非 お聴きください!



大槻 夏子

(ピアノ専攻4回生)

■ C. サン= サーンス/ ピアノ協奏曲第5番"エジプト風" へ長調 作品 103

サン=サーンスのピアニストデビューから 50年目を祝う音楽会のためにこの曲が書か れました。

エジプト滞在の際に作曲され、とりわけ第二楽章は異国情緒漂う雰囲 気で,これが「エジプト風」たる由縁です。

第一楽章…清々しい朝を思わせるように始まり、ピアノの煌びやかな 音とオーケストラの掛け合いで発展していきます。第二主題でピアノ が歌う,美しく儚いメロディに耳を傾けて頂きたいです。

第二楽章…エジプト風の音形が用いられ、エキゾチックに始まります。 しだいに静かで繊細な部分になり、ナイル川畔の夜の色気が感じられ ます。

第三楽章…軽快に生き生きと始まり,輝き弾けるような響きに溢れ,最 後はエネルギーに満ちたフィナーレを飾ります。

この曲は私が演奏してきた中で、1番と言えるほど大好きな曲です。聴 くだけでワクワクして心躍るような気分になります。

是非その魅力を皆さまにも感じて頂けたらと思います!

京都市立芸術大学